

製品安全データシート (SDS)

製品名：ユーファルト MB-1

改定日：2020/05/01

ページ数：6

1. 製品および会社情報

製品

製品名：ユーファルト MB-1

製品の説明：減圧蒸留残渣油と芳香族炭化水素の混合物

主要用途：道路舗装用バインダー

会社情報

会社名：日東商事株式会社

住所：〒102-0083

東京都千代田区麴町1-7-2

相互半蔵門ビルディング9階

部署名：アスファルト事業部

電話番号（代表）：03-6261-0150

ファクス番号（代表）：03-6261-0498

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

GHS 分類 分類基準に該当しない。

この物質は、規制に基づく有害物とはみなされない。(国内法は、第15章参照)

物理的科学的有害性

高温に加熱溶解された物質に接触すると熱傷する事が有る。

人体への有害性

危険有害性情報 現在のところ有用な情報なし。

この物質は本来無害である。しかし、加熱溶解した場合に発生する蒸気煙霧は呼吸器管に刺激を与える恐れがある。

注意事項：本物質は専門家の助言なしで、1章の用途以外の目的で使用しては成らない。
個人差はあるが、人体に潜在的なリスクを与えることがある。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別	・混合物
科学名又は一般名	・改質アスファルト
成分及び含有量	・減圧蒸留残渣油の芳香族系炭化水素、その他
化学特性（化学式）	・特定できない。
官報公示整理番号	・企業秘密なので記載できない。
CAS ナンバー	・企業秘密なので記載できない。
危険有害成分	
化学物質管理促進法（PRTR 法）	非該当
労働安全衛生法	・表示対象物（通知対象物）鉱油 50－60%
毒物劇物取締法	・対象物ではない。
GHS 危険有害成分情報	・【成分名/GHS 危険有害性情報/GHS 危険有害性コード/含有量】現在のところ含有情報なし。

4. 応急処置

吸入した場合	・新鮮な空気の場所に移す。体を毛布等でおおい保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	・大量の水でヒリヒリしなくなるまで冷やし、皮膚に付着した製品は取り除かないで、医師の手当てを受ける。
目に入った場合	・清浄な水で数分間注意深く洗う。最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	・無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。 口の中が汚染している場合には、水で十分洗うこと。
最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報	1 飲み込むと、下痢、嘔吐する可能性がある。 2 目に入ると炎症を起こす可能性がある。 3 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。 4 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。
応急処置をする者の保護 医師に対する特別注意事項	・現在のところ有用な情報なし。 ・現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤	1 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。 2 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。 3 大規模火災の際は、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤	・棒状の水を用いてはならない。火災を拡大する可能性がある。
火災時の特定危険有害性	・現在のところ有用な情報なし。
特定の消火方法	1 火元への燃焼源を断つ。 2 周囲の設備に散水して冷却する。 3 火災発生場所の周辺に関係者以外立ち入りを禁止する。
消化を行う者の保護	・消火作業は必ず風上から行い保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	1 消火用機材を準備する。
保護具及び緊急時処置	2 作業の際には消火用保護具を着用する。
環境に対する注意事項	・海上・河川・下水道等に排出されないよう注意する。
回収・中和並びに封じ込め	1 周辺の着火源を速やかに取り除く。
及び浄化の方法・機材	2 漏洩時は、土砂、ウエス等に吸収させて回収する。
二次災害の防止策	・大量の漏洩時には、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体排気を行う。
安全取扱いの注意事項	熱処理の場合、蒸気の排気と十分な換気を行う。
接触回避	「10. 安全性及び反応性」を参照。
保管	混触禁止物質、等にデータ無し。
保管条件・技術的対策	1 紫外線による劣化可能性があるため、直射日光を避けた、冷暗所に保存すること。 2 容器及び袋等の開封時に、粉末の飛散等に注意する。 3 着火源から遠ざける。煙草等の火気は、厳禁とする。 4 熔融した状態で長時間保管しなければ成らない場合は、窒素雰囲気下で保管する。
容器包装材料	樹脂、金属容器及び樹脂袋、推奨材料特にデータなし。

8. 暴露防止措置及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会(2015年度版) 3mg/m ³ (鉱油ミストとして)
設備対策	熱処理した溶融物の場合、蒸気の排気装置を設ける。
保護具	
呼吸器用の保護具	状況に応じて呼吸器用保護具等を使用する。
手の保護具	状況に応じて耐熱性、及び耐油性保護手袋等を使用する。
目の保護具	状況に応じて保護眼鏡等を使用する。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて保護衣等を使用する。
適切な衛生対策	使用及び、作業エリアでは、喫煙、飲食をしない。

9. 物理的及び科学的性質

形状	固体
色	褐色
臭い	微臭
物理的性状	固体
P H	該当しない
融点・溶融範囲	80-150 °C
沸点・沸騰範囲	該当しない
引火点	250°C
自然発火温度	≥ 320°C (ASTM D 1929)
蒸気圧	該当しない
密度	0.98-1.05 g/cm ³
嵩密度	該当しない
水溶性	不溶性
追加情報	
その他の情報	数値範囲は製品群の変動範囲に対応している。

10. 安定性及び反応性

危険有害な分解生成物	データなし
熱分解	≥ 260 °C
危険有害反応可能性	危険な反応は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	1 経口	ラット LD50	5000mg/kg 以上
	2 経皮	ウサギ LD50	5000mg/kg 以上

	吸入	データなし
皮膚刺激性		皮膚刺激性に区分する情報はない。
眼に対する刺激性		眼刺激性に区分する情報はない。
呼吸器感作性		蒸気を吸い込んだ場合は軽度の感作性があるので注意する。
生殖細胞変異原性		生殖細胞変異原性を示す情報はない。
特定標的臓器毒性		特定標的臓器毒性及び全身毒性を示す情報はない。

1 2. 環境影響情報

水性環境毒性	<ul style="list-style-type: none"> ・水にほとんど溶解しないため水性生物に汚損を生じない。
水性環境急性有害性	<ul style="list-style-type: none"> ・水性環境急性有害性はないと判断できる。
水性環境慢性有害性	<ul style="list-style-type: none"> ・水性環境慢性有害性はないと判断できる。
移動性	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的には水に対して浮く性質がある。
残留性・分解性	<ul style="list-style-type: none"> ・即時的な生物分解性は期待できないが、最終的には生物分解されると期待されている。
生体蓄積性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物濃縮する可能性を備えた成分を含んでいるが詳しい情報がない。
オゾン層への有害性	<ul style="list-style-type: none"> ・規制対象物の使用はなく区分外と判断する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記情報は部分的な情報及び類似物質によるものであり、本製品に対して完全な情報が取得されているわけではない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 ・都道府県知事等の許可を受けた、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
容器・包装	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類、品名等	<ul style="list-style-type: none"> ・非該当。
国連番号	<ul style="list-style-type: none"> ・なし。
追加の規制	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ有用な情報なし。

国内規制

陸上輸送	<ul style="list-style-type: none">・ 消防法の危険物に該当しない。・ 毒物及び劇物取締法に該当しない。・ 高压ガス保安法に該当しない。・ 道路交通法の規定に従う。
海上輸送	<ul style="list-style-type: none">・ 船舶安全法に該当しない。
航空輸送	<ul style="list-style-type: none">・ 航空法に該当しない。
輸送の安全対策 及び条件	<ol style="list-style-type: none">1 引火性があるので火気厳禁扱とする。2 その他関係法令の定めるところに従う。

1 5. 適用法令

国内法令

消防法	<ul style="list-style-type: none">・ 危険物に該当しない。
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none">・ 表示対象物（通知対象物） 鉱油 50－60%
毒物及び劇物取締法	<ul style="list-style-type: none">・ 対象物に該当しない。
化学物質管理促進法	<ul style="list-style-type: none">・ 対象物に該当しない。
海洋汚染防止法	<ul style="list-style-type: none">・ 油分排出規制（原則禁止）
下水道法	<ul style="list-style-type: none">・ 鉱油類排出規制（5mg/L）
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none">・ 油分排出規制（5mg/L 許容濃度）ノルマルヘキサン抽出分として検出される。
化審法	<ul style="list-style-type: none">・ 対象物に該当しない。

1 6. その他の情報

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するために参考資料として、取扱う事業者へ提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考にして、自らの責任に於いて、個々の取扱いで実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用される様にお願ひ致します。

本データシートは、当製品についていかなる保証をするものでもありません。安全の保証書ではありません。